

## 5月28日(金) 地域の一員としてできること

昨日、少年センターの所長さんが「地域の方から通報があった」と来校されました。対応した生徒指導担当が反射的に「すみません」と言ったのですが、以下のような話でした。

5月25日(火)16時30分ごろ、松尾公園の東屋付近に弁当を食べた後のパックや菓子の袋などのゴミが散逸しており、それを見かねて年配の一人の男性が拾い集めておられた。

それを見た公園を利用していた日野中生2人が自発的にゴミ拾いに参加してきた。この中学生の行動を見た他の中学生、小学生も集まってきて一緒にゴミを拾いはじめ、すぐにきれいになった。集めたゴミは中学生が持ち帰って処分した。

今の若い子は否定的に発言される場合が多いが、この行動を見て町民として誇らしげに思った。

というものでした。

小学生のときは、地域の皆さんに見守られながら登校したり、どちらかというと「してもらおう」場面が多かったと思います。また、中学校でも「ふるさと絆事業」などで地域の皆さんにいろいろとお世話になり、「してもらおう」機会がたくさんあります。

「お世話になったこと」に対して、中学生として何ができるかを考えられるといいですね。今回の中学生の行動は、できることの一つだと思います。ありがとう。